

女性の就農環境改善計画

(令和4年度女性の就農環境改善支援事業)

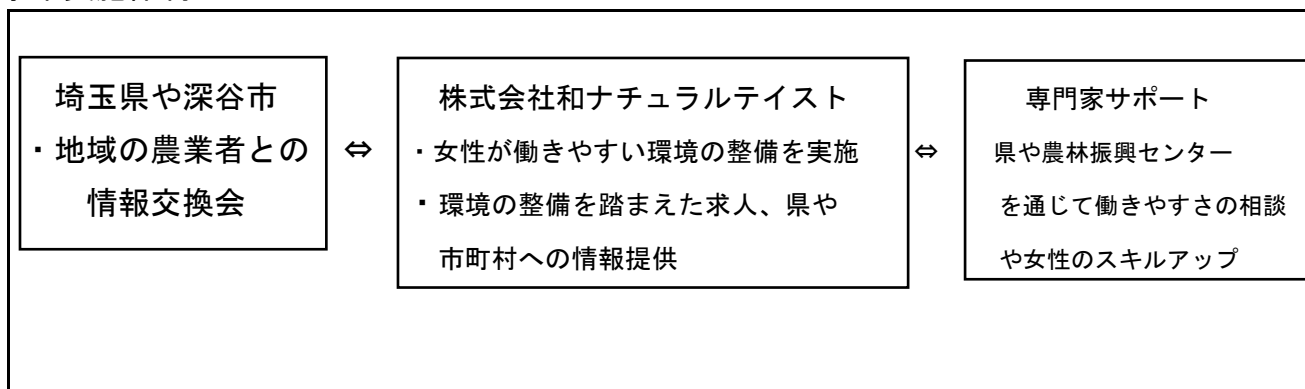
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	株式会社和ナチュラルテイスト	
所在地	埼玉県深谷市岡部2005番地1	
代表者	松下和彦	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業内容：ねぎ・ブロッコリー・とうもろこし等の生産及び加工・販売 ・ 従業員数20人(うち女性12人) ・ 経営規模13ha(ブロッコリー・ねぎ) ・ 農業関連事業：加工品の製造・販売 ・ 離職率の低下を狙いとした既存の取組 フレックスタイム制 定期的な従業員個人面談 ・ 新規就農希望者の受け入れ、研修 	女性農業者の人数：12人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

- ・地域での慢性的な農業女性の人材不足である
- ・当社の製品は、ブランドとして販売を行っていききたいため、きめ細かな農産物への気遣いや、美しい荷造り等ができる女性の雇用を増やしていききたいが、働きにくさ（汚れ・寒さ・暑さ）により求人をしていても女性の確保が難しく、面接時で断られてしまう事例もある。また、今年は雹害被害もうけ販売が出来なかったこともあり、近々で労働環境整備へ投資することは難しい状況である。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

- ・女性従業員のうち7名は生産部門（野菜）に従事、また加工部門の5名も野菜の生産に携わり、兼務としているため農作業着に着替える機会も多い。
- ・現状では男女共有の小さな更衣室があるが、狭くて入れない人や、男女共有が嫌な人は道路沿いの駐車場で、天候（雨晴）にかかわらず着替えている現状がある。
- ・男性が多い職場であり、また休憩所がないので、女性たちだけで安心して休息できる環境（時間）が必要である。（清潔・空調）

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

- ・雇用を獲得、雇用を定着させるには、女性も男性も働きやすい清潔で安心できる空間が必須であると考えています。本事業で、更衣室・休憩室を整備し、雇用の創出と定着、ひいては、農業の印象を変えていくことができればと考えています。他産業と同様に働きやすい環境は農業には必要です。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥ その他				
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する女性農業 者(注2)の人数	備考
②更衣室・休憩 室	R5.3	敷地内	1	13	
計			1	13	

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分	①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他						
区分番号 (注1)	時期	内容	実施 回数	参加する 女性農業 者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定期的な個人面談を行い、ひとりひとりに合わせたサポートをしている（勤務時間の改正・フレックスタイム制・休み易さ） ●女性従業員が県の農業ビジネス支援課や農林振興センター等での勉強会に積極的に参加したり、深谷市の農業女子団体に加わり、社外でのイベントやPR活動を行ってコミュニケーションをとっている。 ●市内中学校・農業高校・農業大学校の就業体験の受け入れ <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●野菜の収穫時に不足している女性の雇用を増していきたい ●加工部門で事業拡大により新たな野菜の生産も考えている。2年間で合計4名は雇用をしたいと考えている。 <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウンワーク等での求人掲載（4回）で新規獲得 ・地域農業者との情報交換会（6回）（環境の整備を踏まえた求人、他の農業事業者との情報交換、市町村への情報提供など） ・女性従業員の働きをSNSで発信（随時）（女性の活躍や働きやすさのアピールで積極的に呼び込む） 	<p>【目標】 採用面接20件</p>

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	2	人
	事業実施翌年度	2	人
	合計	4	人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）			
自営農業就業者 人、雇用就農者 1人、 アルバイト等 3人			

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」の応募者のみ記載）	
【事業実施年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数） 人	
【事業実施翌年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数） 人	

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。